

チャンス！沼津市も鉄道跡地や高架下を活用 道路問題を解決して住みやすいまちづくり

鉄道高架を活用したまちづくりの先進事例視察

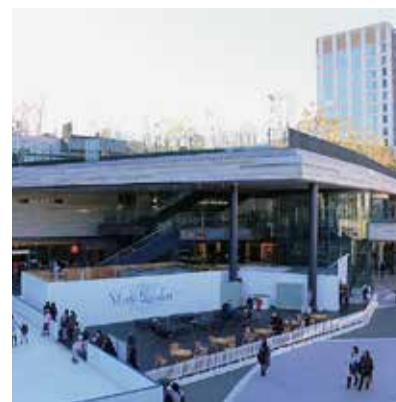
市民の会では、今後のまちづくりの参考とするため、今年1月25日に高架化先進事例として、中目黒駅（東京都目黒区）と二子玉川駅（東京都世田谷区）を視察しました。

〈参加した会員の主な意見〉

- 新しい建物の整備だけでなく、環境との調和が今後のまちづくりには必要だと感じた
- 様々な業態の店舗を視察し、高架下には商業・文化・スポーツなど大きな可能性があると思った
- 沼津の発展のために早くまちづくりを進めてもらいたい
- 沼津は中目黒駅よりも高架の高さがあるので、開発しやすいのではないかと
- 従来のガード下というイメージはなく、ゆったりコーヒーを飲む店もあって騒音や振動は気にならなかった



二子玉川駅



二子玉川ライズ(ショッピングセンター)



中目黒駅



中目黒駅高架下(商業施設)



中目黒駅高架下(書店)

鉄道高架事業により、高架下空間や鉄道跡地など、駅の周辺で新たに活用できる土地や空間が生まれ、少子高齢化に対応したまちづくりが可能となります。

新しいまちづくりの効果は「やろう」と決めた日から始まります。

いつまでも賛否を問う議論を続けることでは、まちづくりは動きません。

避けるべきは、何もスタートできずに都市間競争に負けることです。

国や県知事、そして沼津市長も決断を下しました。

市民の手と一緒に、住みやすいまちづくりを進めましょう！

沼津駅周辺は日々新しい街並みへと生まれ変わっています

沼津駅南口の西側、添地町周辺では、鉄道の高架化を前提とした土地区画整理事業などにより、建物の移転や道路整備が進んでおり、新たな街並みへと生まれ変わっているところです。

このように現在、沼津駅周辺では、専門学校やマンションなどが建設され、新たな人の流れが生まれているほか、様々なイベント等の開催により、市内外から多くの人が集まるようになりました。

今後、鉄道高架が完成することにより、南北だけでなく駅周辺の東西道路も整備され、街がより便利になります。



平成28年4月専門学校開校



沼津駅南第一地区土地区画整理事業が進む添地町周辺の様子

沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況や鉄道高架を活用した新しいまちづくりの先進事例などについて紹介しています

Facebookページ「沼津発→未来へ」



総会開催・先進地視察・広報紙「かけはし」発行・要望活動などを実施しました

平成二十八年度 会の動き

1. 会議の開催

- (1) 総会・定時会員総会
 - とき 平成二十八年七月二十一日(木)
 - 場所 プラサヴェルデ
 - 議案 平成二十七年事業報告及び収支決算、平成二十八年度事業計画及び収支予算、役員改選について
 - 報告 「鉄道高架事業について」



(2) 正副会長会議

- とき 平成二十八年六月二十四日(金)
- 場所 沼津商工会議所会議室
- 議題 定時会員総会に諮る議案について
- 報告 「鉄道高架事業について」

- とき 平成二十八年九月十六日(金)
- 場所 沼津商工会議所会議室
- 議題 高架事業の推進について

- とき 平成二十八年十一月十日(木)
- 場所 沼津商工会議所会議室
- 議題 高架事業の推進について

- とき 平成二十九年三月十七日(金)
- 議題 かけはしの発行について

- (3) 事務局会議
 - とき 平成二十八年六月九日(木)
 - とき 平成二十九年三月十四日(火)

2. 広報啓発活動

(1) 視察

- とき 平成二十九年一月二十五日(水)
- 場所 東京都目黒区・東京都世田谷区
- 参加者 三十二名

(2) 広報紙「かけはし」発行

- ① 第三十三号(三月三十一日発行)
- 8万5千部印刷・全戸配布

3. 関係機関への要望

- とき 平成二十八年六月三十日(木)
- 沼津駅付近鉄道高架事業の推進について県知事へ要望した



- とき 平成二十八年七月十四日(木)
- 沼津駅付近鉄道高架事業の推進について国土交通大臣へ要望した



- とき 平成二十九年二月十六日(木)
- 沼津駅付近鉄道高架事業の推進について沼津市長へ要望した



4. その他

- (1) 意見広告掲載
 - とき 平成二十八年十月二日付
 - 静岡新聞・沼津朝日新聞
- (2) 記事広告掲載
 - とき 平成二十九年三月三十一日付
 - 静岡新聞・沼津朝日新聞